



参天製薬株式会社

2012年度 決算説明会

2012年度 連結業績概要

2013年度 連結業績予想

2013年5月9日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2012年度 連結業績概要

2011-2013年度中期経営計画：基本方針

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現に向けて

1. グローバル視点での研究・開発へ転換
2. 新製品と営業戦略による国内でのシェア獲得と事業成長
3. 積極的な営業体制強化によるアジア事業、欧州事業の高成長
4. 世界4工場*体制への円滑な移行と新興市場に対応した体制の構築
5. グローバルに創造と革新を担う組織強化・人材開発

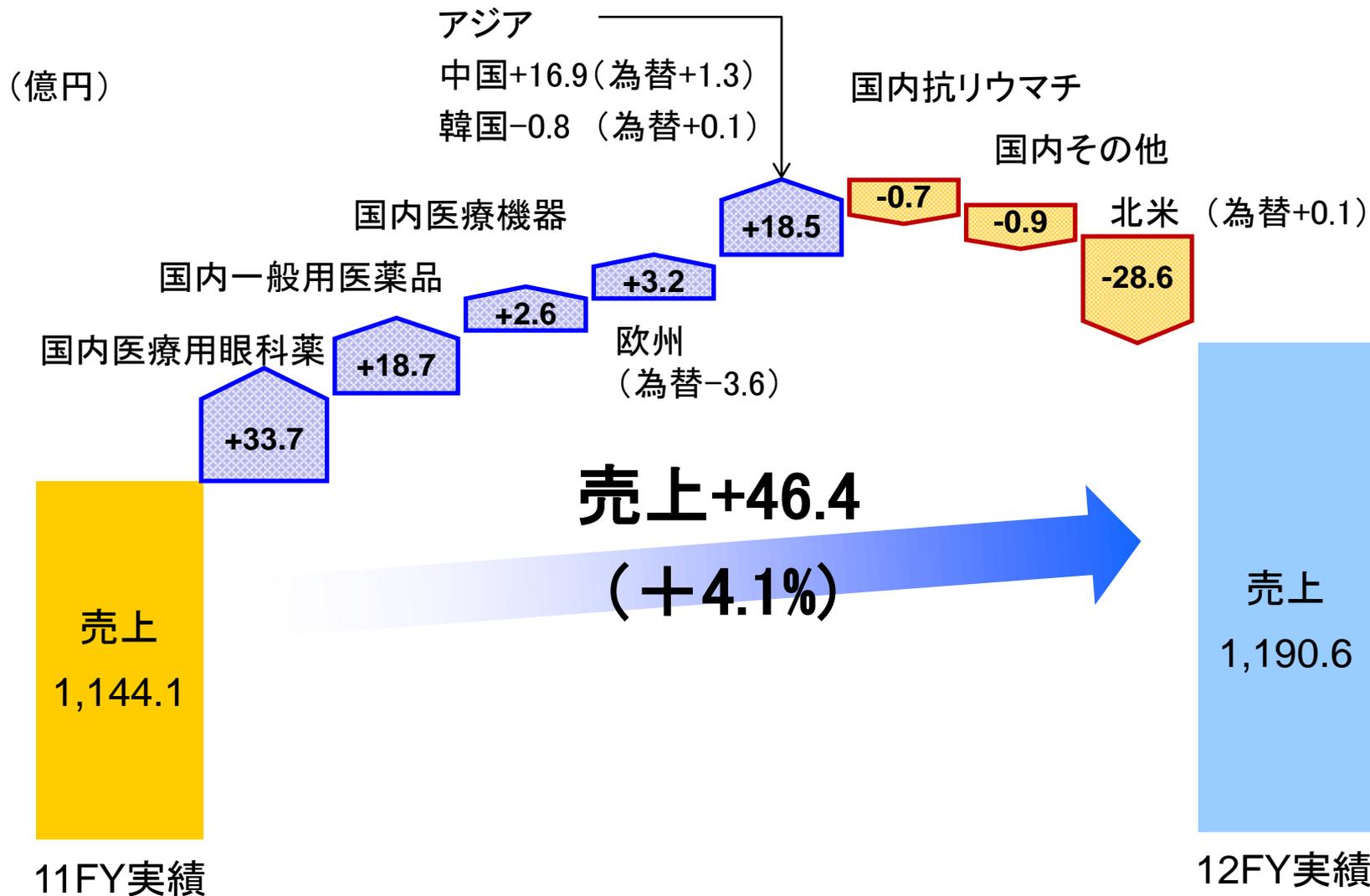
2012年度 決算概況

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度 実績	対前年同期 増減率	2012年度 業績予想	対予想 進捗率
売上高	1,144.1	1,190.6	+4.1%	1,145.0	104.0%
売上原価 (対売上高比率)	353.8 30.9%	415.0 34.9%	+17.3% +3.9pt	380.0 33.2%	109.2% +1.7pt
研究開発費除く 販売管理費 (対売上高比率)	350.7 30.7%	361.6 30.4%	+3.1% ▲0.3pt	355.0 31.0%	101.9% ▲0.6pt
研究開発費 (対売上高比率)	172.2 15.1%	167.1 14.0%	▲2.9% ▲1.0pt	175.0 15.3%	95.5% ▲1.2pt
営業利益 (対売上高比率)	267.3 23.4%	246.8 20.7%	▲7.7% ▲2.6pt	235.0 20.5%	105.0% +0.2pt
経常利益	277.8	256.0	▲7.8%	240.0	106.7%
当期純利益	171.6	165.2	▲3.7%	160.0	103.3%

<為替レート>	11FY実績	12FY実績
US\$	JPY 79.03	JPY 82.91
Euro	JPY 110.27	JPY 106.01
中国元	JPY 12.34	JPY 12.64

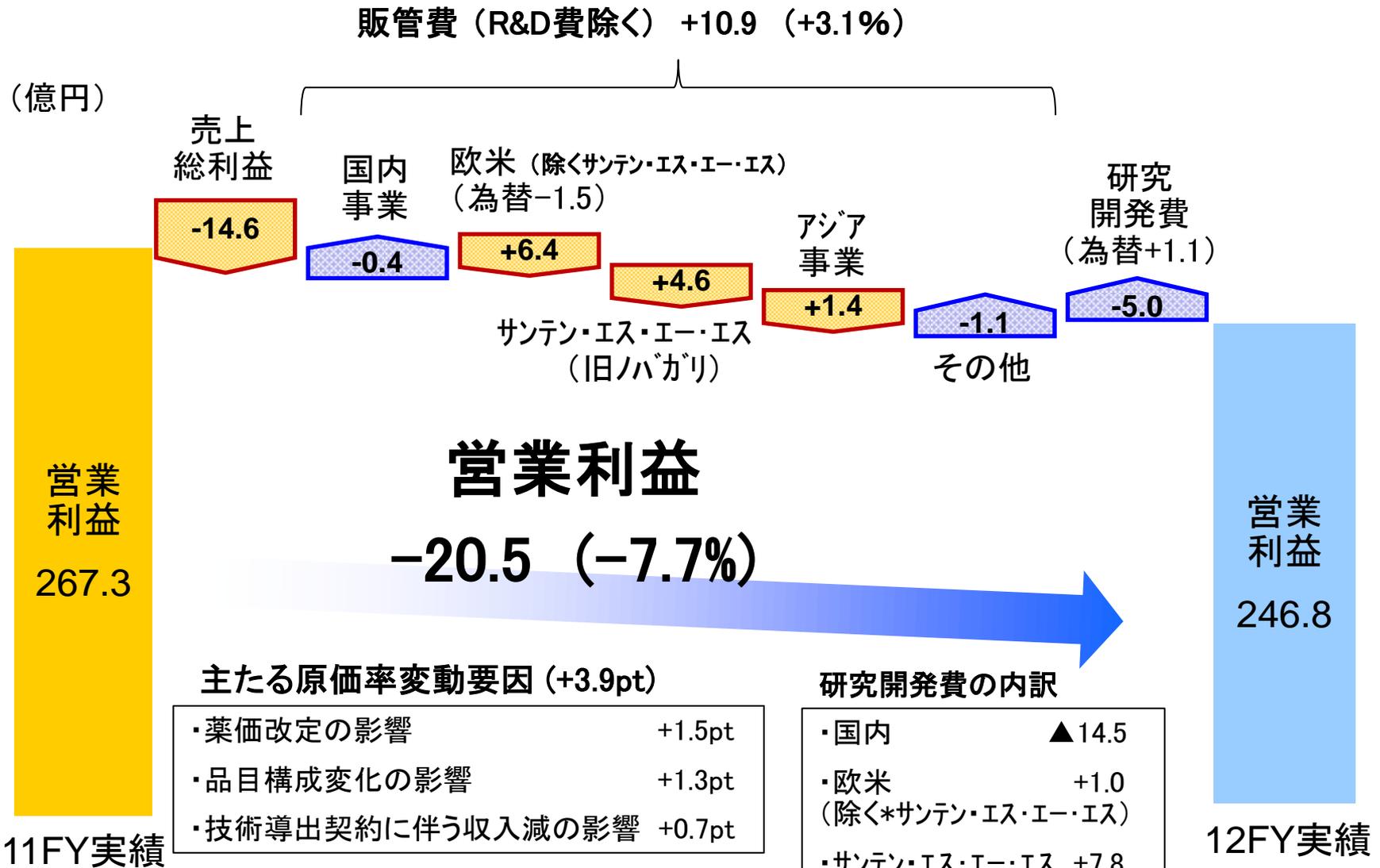
<為替レート>	12FY予想
US\$	JPY 79.00
Euro	JPY 104.00
中国元	JPY 12.50

売上高の増減内訳



2012年度

営業利益の増減





2013年度 連結業績予想

2013年度 連結業績予想

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度 予想	対前年同期 増減率
売上高	1,190.6	1,345.0	+13.0%
売上原価 (対売上高比率)	415.0 34.9%	480.0 35.7%	+15.7% +0.8pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	361.6 30.4%	420.0 31.2%	+16.2% +0.9pt
研究開発費 (対売上高比率)	167.1 14.0%	182.0 13.5%	+8.9% ▲0.5pt
営業利益 (対売上高比率)	246.8 20.7%	263.0 19.6%	+6.6% ▲1.2pt
経常利益	256.0	268.0	+4.7%
当期純利益	165.2	182.0	+10.2%
ROE	10.0%	10.7%	+0.7pt

<為替レート>	12FY累計実績	13FY予想
US\$	JPY 82.91	JPY 94.00
Euro	JPY 106.01	JPY 124.00
中国元	JPY 12.64	JPY 15.10

2013年度 基本方針

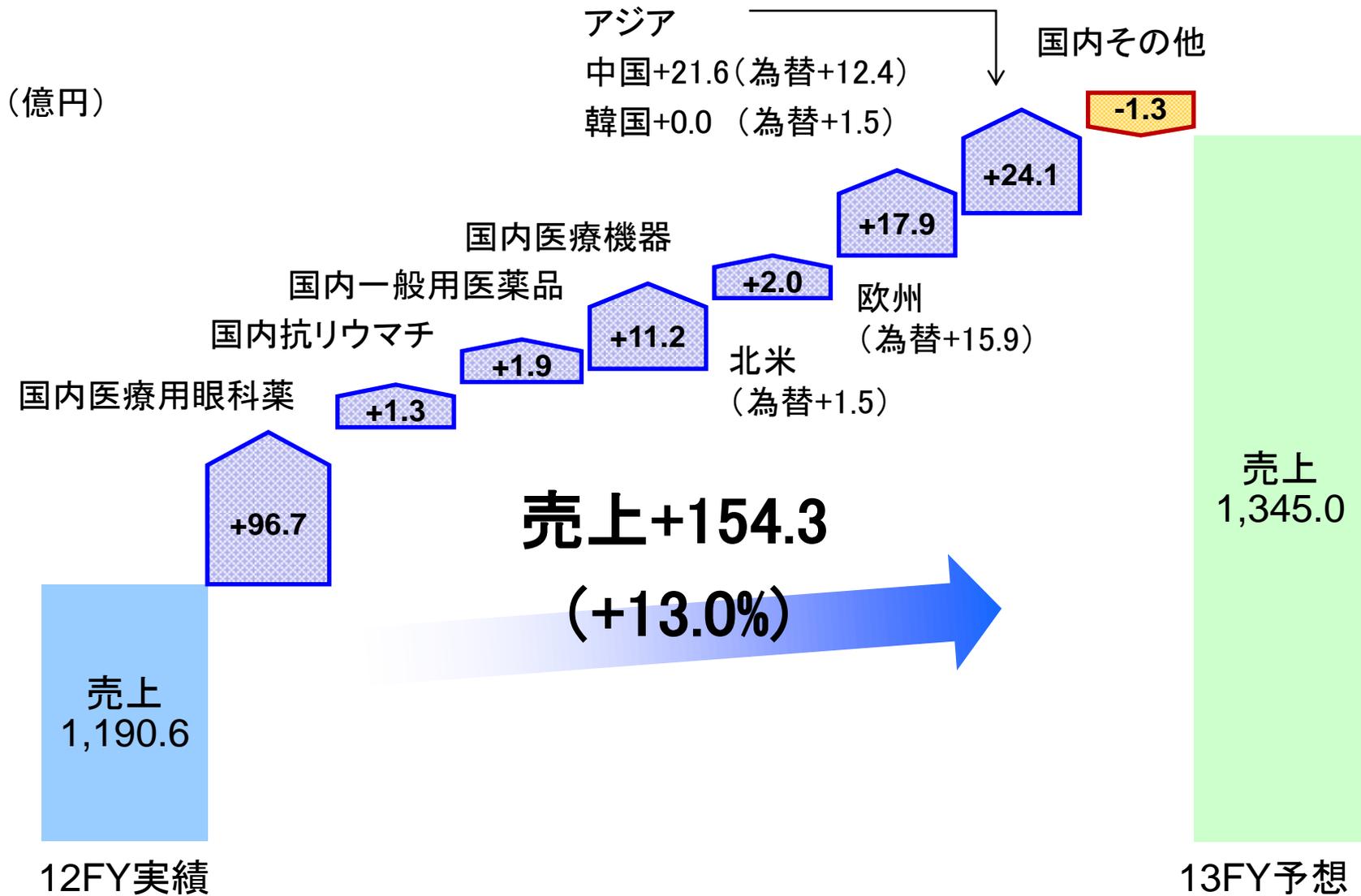
積極的な研究開発投資を継続

ジクアス・アイリーア等新製品による持続的成長

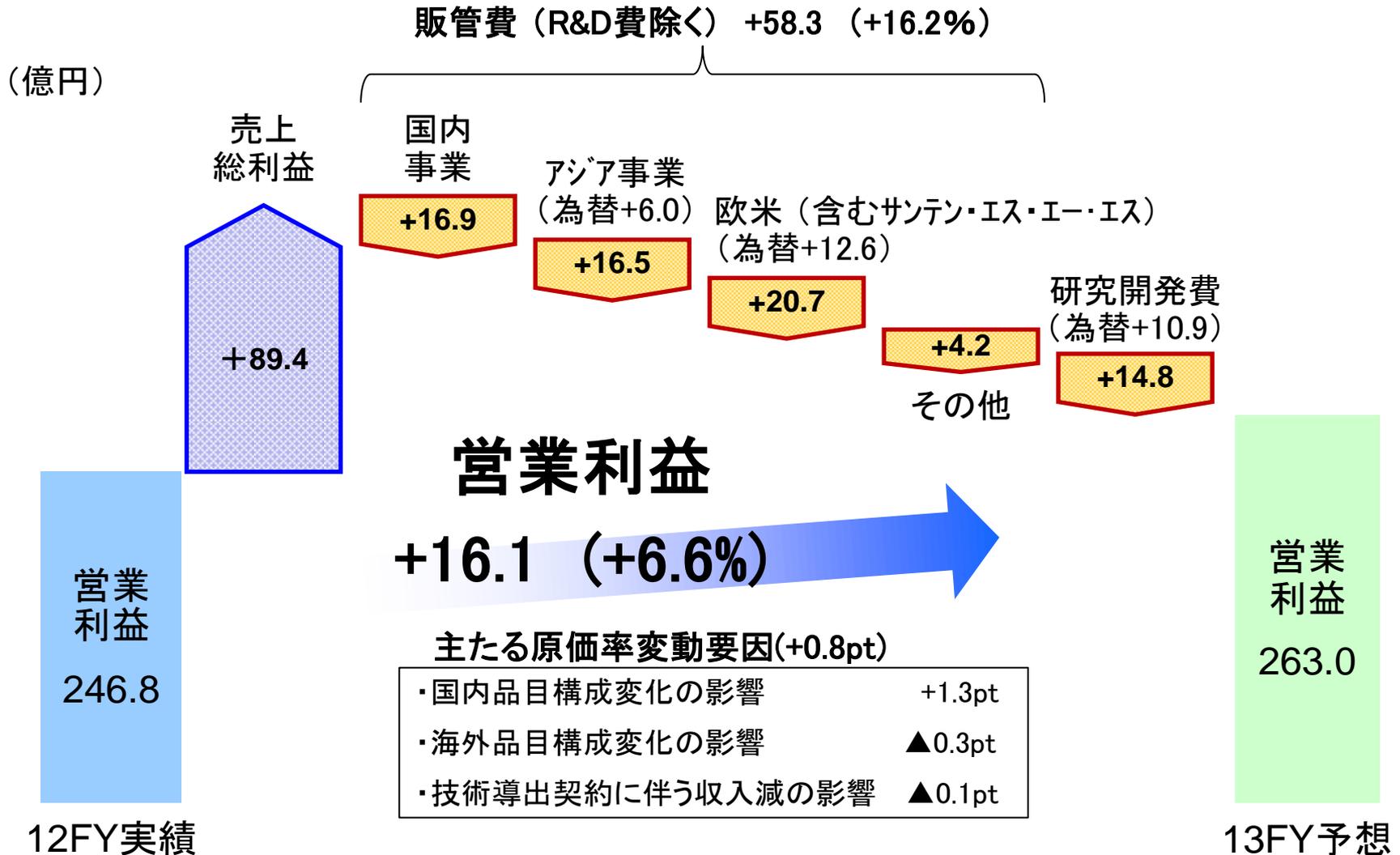
アジアでの成長を維持

原価の低減および販管費の適正管理

2013年度予想 売上高の増減内訳



2013年度予想 営業利益の増減内訳





2012年度 配当実績および 2013年度 配当予想

2012年度配当実績および2013年度配当予想

■ 2012年度

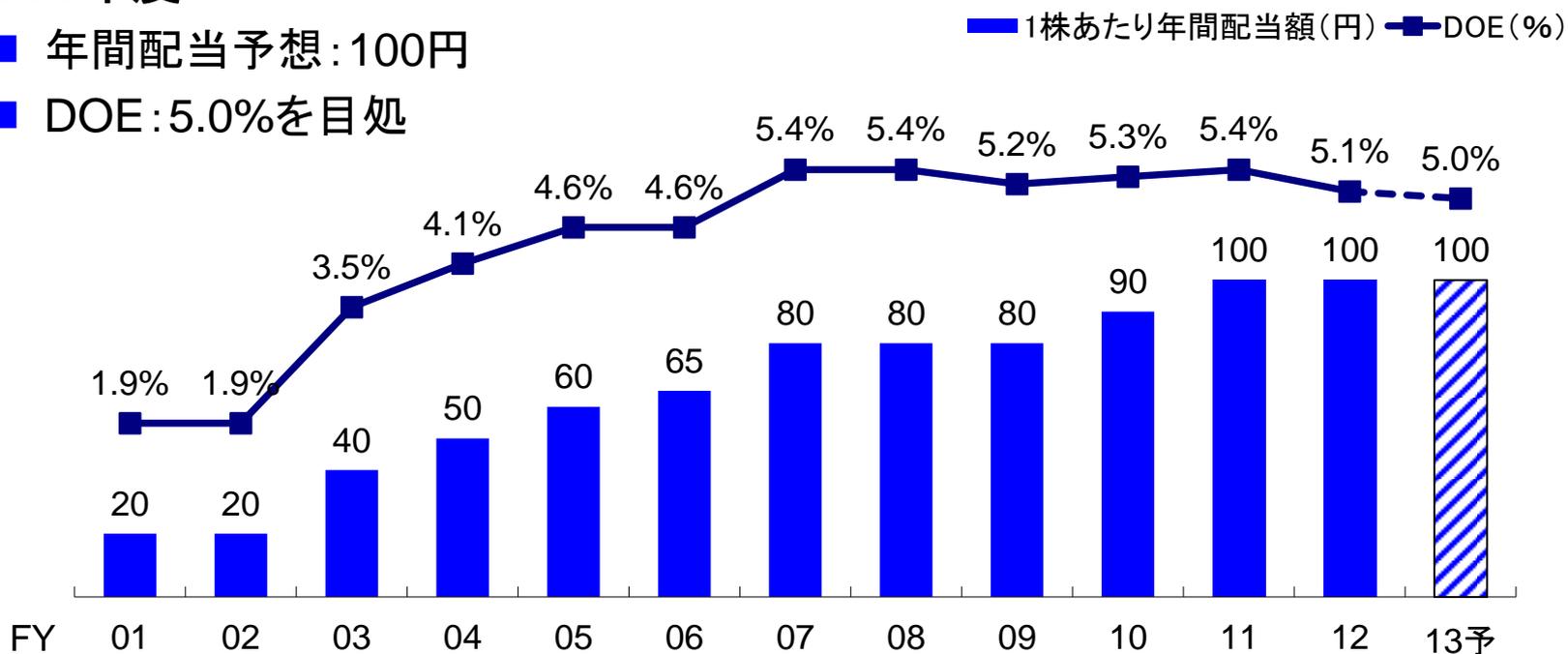
■ 年間配当実績:100円

■ DOE:5.1%

■ 2013年度

■ 年間配当予想:100円

■ DOE:5.0%を目処



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013e
配当性向(%)	34.9	21.4	55.8	39.7	39.9	42.9	54.7	67.2	36.3	36.0	50.8	51.1	46.4
自己株取得額(億円)	32	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	-
総還元性向(%)	96.4	59.5	55.8	63.3	39.9	42.9	85.8	67.2	36.4	36.7	50.8	137.0	-



參考資料
2012年度連結業績概要

セグメント別売上高

(単位:億円)	2012年実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	985.2	+5.4%	182.8	▲0.6%	1,168.1	+4.4%
医療用医薬品	920.6	+3.6%	182.7	▲0.6%	1,103.3	+2.9%
眼科薬	811.2	+4.3%	178.5	+12.5%	989.8	+5.7%
抗リウマチ薬	98.1	▲0.7%	0.6	▲38.7%	98.7	▲1.1%
その他医薬品	11.2	▲8.1%	3.5	▲85.3%	14.8	▲59.3%
一般用医薬品	64.5	+40.8%	0.1	+47.4%	64.7	+40.8%
その他	21.8	+13.8%	0.6	▲89.7%	22.5	▲12.2%
医療機器	21.7	+13.9%	0.6	▲89.7%	22.4	▲12.2%
その他	0.1	▲9.6%	—	—	0.1	▲9.6%
合計	1,007.1	+5.6%	183.5	▲3.6%	1,190.6	+4.1%

海外売上高(仕向地別)

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度		
		実績	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	34.5	5.8	▲28.6	▲83.1%
欧州	88.8	92.0	+3.2	+3.6%
アジア	67.0	85.5	+18.5	+27.6%
その他	0.0	0.1	+0.0	+86.6%
合計	190.4	183.5	▲6.8	▲3.6%
海外売上高比率	16.6%	15.4%	▲1.2pt	—

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度		主な差異要因
		実績	前年比	
売上高	1,144.1	1,190.6	+4.1%	
売上原価 (対売上高比率)	353.8 30.9%	415.0 34.9%	+17.3% +3.9pt	・薬価改定の影響+1.5pt ・品目構成の変化+1.3pt ・技術提携(導出)契約に伴う収入の影響+0.7pt
研究開発費除く販売管理費 (対売上高比率)	350.7 30.7%	361.6 30.4%	+3.1% ▲0.3pt	・欧米(除く*サンテン・エス・イー・エス)+6.4億円 ・サンテン・エス・イー・エス+4.6億円 ・アジア+1.4億円 ・国内事業 ▲0.4億円 *サンテン・エス・イー・エス=旧ノバガリ
研究開発費 (対売上高比率)	172.2 15.1%	167.1 14.0%	▲2.9% ▲1.0pt	・国内▲14.5億円 ・欧米(除く*サンテン・エス・イー・エス)+1.0億円 ・サンテン・エス・イー・エス+7.8億円 *サンテン・エス・イー・エス=旧ノバガリ
営業利益 (対売上高比率)	267.3 23.4%	246.8 20.7%	▲7.7% ▲2.6pt	
営業外収益	11.1	10.0	▲9.9%	
営業外費用	0.7	0.8	+21.5%	
経常利益	277.8	256.0	▲7.8%	
特別利益	0.6	0.1	▲71.2%	
特別損失	0.5	0.2	▲44.8%	
税金等調整前当期純利益	277.9	255.9	▲7.9%	
法人税等	106.3	90.7	▲14.7%	
当期純利益	171.6	165.2	▲3.7%	

<為替レート>	2011年度実績	2012年度実績
US\$	79.03円	82.91円
Euro	110.27円	106.01円
中国元	12.34円	12.64円

貸借対照表

(単位:億円)	2012年3月末		2013年3月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,402.8	70.6%	1,325.8	66.4%	▲77.0
固定資産	585.1	29.4%	670.5	33.6%	+85.4
資産合計	1,988.0	100.0%	1,996.4	100.0%	+8.3
流動負債	274.2	13.8%	270.1	13.5%	▲4.1
固定負債	65.1	3.3%	74.9	3.8%	+9.8
負債合計	339.4	17.1%	345.0	17.3%	+5.6
純資産合計	1,648.6	82.9%	1,651.3	82.7%	+2.7
負債純資産合計	1,988.0	100.0%	1,996.4	100.0%	+8.3

【主要変動科目】

- 流動資産: 現金及び預金▲153.5億円、受取手形及び売掛金+59.1億円
- 固定資産: 建物及び構築物+6.2億円、建設仮勘定+10.8億円、のれん+1.3億円、仕掛研究開発+8.2億円、投資有価証券+57.6億円
- 流動負債: 支払手形及び買掛金+11.9億円、未払金+8.5億円、未払法人税等▲22.4億円、賞与引当金+1.4億円
- 固定負債: 長期繰延税金負債+2.7億円、退職給付引当金+2.0億円
- 純資産 : 資本金+3.8億円、資本剰余金▲2.7億円、利益剰余金▲50.2億円、為替換算調整勘定+33.3億円

※ 発行済株式数: 12年3月末 87,146千株 → 13年3月末 82,469千株、11月16日付 自己株式消却による

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2012年度 実績
現金等期首残高	750.3
現金等 増減額	▲152.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	+99.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲45.9
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲215.5
現金等に係る換算差額	+9.7
現金等期末残高	597.9

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2011年度 実績	2012年度	
		実績	増減額
設備投資額	34.9	42.0	+7.0
減価償却費	27.1	25.3	▲ 1.8
リース料	0.2	0.0	▲ 0.1



参考資料

サンテン・エス・イー・エス(旧:ノバガリ)
の業績概略

サンテン・エス・イー・エス(旧:ハガリ)連結対象損益概要

(単位:EUR' mil)	2011年度 実績	2012年度	
		実績	増減額
売上高	0.4	0.6	+0.2
売上原価	0.2	0.4	+0.1
研究開発費を除く 販売管理費	6.0	10.7	+4.6
うちのれん償却費	1.5	6.1	+4.6
研究開発費	3.7	11.3	+7.6
営業利益	▲9.6	▲21.9	▲12.2



参考資料
2013年度通期連結業績予想

連結業績予想中期比較

(単位: 億円)	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 業績予想
売上高	1,105.9	1,108.1	1,144.1	1,190.6	1,345.0
営業利益	296.4	307.3	267.3	246.8	263.0
経常利益	298.6	314.8	277.8	256.0	268.0
当期純利益	187.2	213.3	171.6	165.2	182.0
ROE	14.3%	14.5%	10.7%	10.0%	10.7%

セグメント別売上高

(単位:億円)	2013年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	1,081.4	+9.8%	227.7	+24.5%	1,309.1	+12.1%
医療用医薬品	1,014.9	+10.2%	227.0	+24.2%	1,241.9	+12.6%
眼科薬	907.9	+11.9%	220.1	+23.3%	1,128.1	+14.0%
抗リウマチ薬	99.4	+1.4%	0.8	+38.2%	100.3	+1.6%
その他医薬品	7.4	▲33.7%	5.9	+68.2%	13.4	▲9.4%
一般用医薬品	66.5	+3.1%	0.7	—	67.2	+3.9%
その他	35.5	+62.3%	0.2	▲56.7%	35.8	+58.8%
医療機器	33.0	+51.5%	0.2	▲56.7%	33.2	+48.3%
その他	2.5	—	—	—	2.5	—
合計	1,117.0	+10.9%	227.9	+24.2%	1,345.0	+13.0%

海外売上高予想

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度		
		予想	対前期 増減額	対前期 増減率
北米	5.8	7.9	+2.0	+35.9%
欧州	92.0	109.9	+17.9	+19.5%
アジア	85.5	109.7	+24.1	+28.2%
その他	0.1	0.3	+0.2	—
合計	183.5	227.9	+44.4	+24.2%
海外売上高比率	15.4%	17.0%	+1.5pt	—

設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	42.0	61.7	+19.6
減価償却費	25.3	28.9	+3.6
リース料	0.0	0.1	+0.0

為替レート

2012年実績、及び2013年度予想における為替レートの前提

(単位:円)	2012年度		2013年度予想	
	予想*	累計実績	予想	中計 策定時**
US \$	79.00	82.91	94.00	83.00
Euro	104.00	106.01	124.00	110.00
中国元	12.50	12.64	15.10	12.50

*業績予想：2012年5月8日付公表

**業績予想：2011年5月10日付公表



參考資料

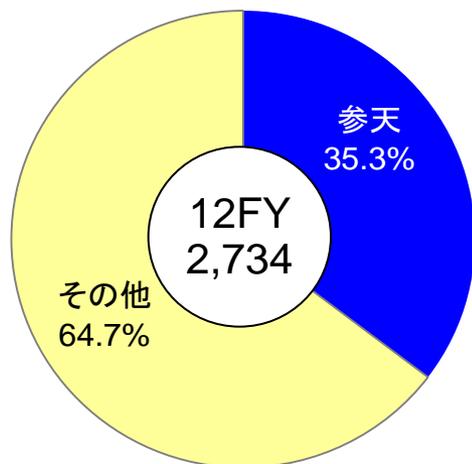
国内医療用眼科薬市場概況
加齢黄斑変性

国内医療用眼科薬：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科薬計：12FYの市場規模は対前年+7.3%。網膜領域、角膜領域の市場拡大傾向続く。参天シェア35.3%
- ・緑内障：市場は対前年+2.8%の拡大。参天はタプロス、コソプトの寄与により、対前年+10.2%、シェア30.4%
- ・角膜：市場は対前年+11.3%の拡大。参天はジクアスが伸長し、対前年+7.1%、シェア74.6%

市場規模:億円
%: 金額ベース

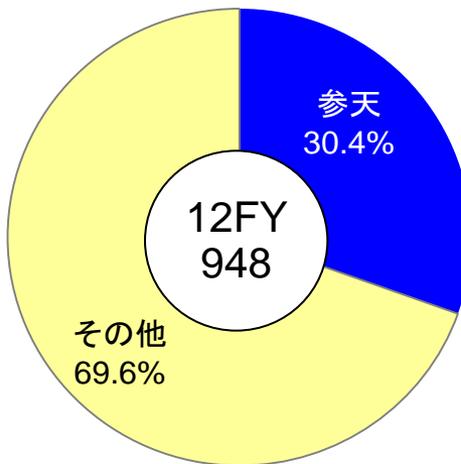
眼科薬計



11FY 12FY

(金額) 前年比	市場	+3.1%	+7.3%
	参天	+4.1%	+4.9%
参天シェア		36.1%	35.3%

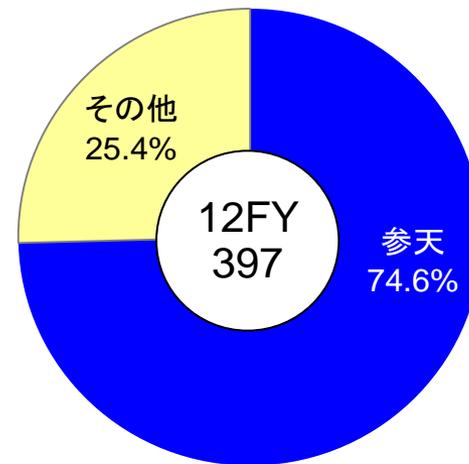
抗緑内障剤



11FY 12FY

市場	+2.3%	+2.8%
参天	+13.1%	+10.2%
参天シェア	28.4%	30.4%

角膜疾患治療剤



11FY 12FY

市場	+11.3%	+11.3%
参天	+13.7%	+7.1%
参天シェア	77.5%	74.6%

- 主な参天製品:

- ・抗緑内障剤: タプロス、コソプト、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン、ジクアス

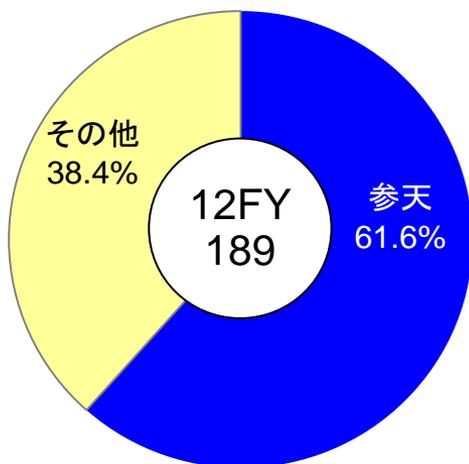
出典: ©2013 IMS Japan
IMS-JPM 2010-13を基に参天分析
無断転載禁止

国内医療用眼科薬(抗菌・抗アレルギー)／国内抗リウマチ薬

- ・抗菌：12FY市場規模は対前年-11.9%の縮小。参天はクラビットを中心にシェア61.6%を確保
- ・抗アレルギー：12FYの市場は対前年+16.8%と拡大。参天シェアは16.0%
- ・抗リウマチ：12FYの市場は対前年+0.3%と微増。参天シェアは39.7%

市場規模: 億円
%: 金額ベース

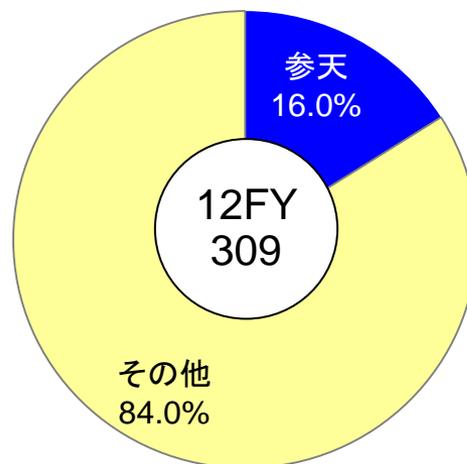
抗菌点眼剤



11FY 12FY

(金額) 前年比	市場	-4.2%	-11.9%
	参天	-5.5%	-19.6%
参天シェア		67.5%	61.6%

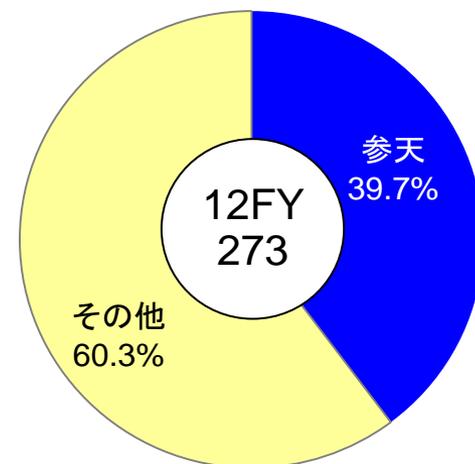
抗アレルギー剤



11FY 12FY

市場	-9.9%	16.8%
参天	-4.9%	6.4%
参天シェア	17.6%	16.0%

抗リウマチ剤(DMARDs)



11FY 12FY

市場	6.7%	0.3%
参天	1.8%	-2.8%
参天シェア	41.0%	39.7%

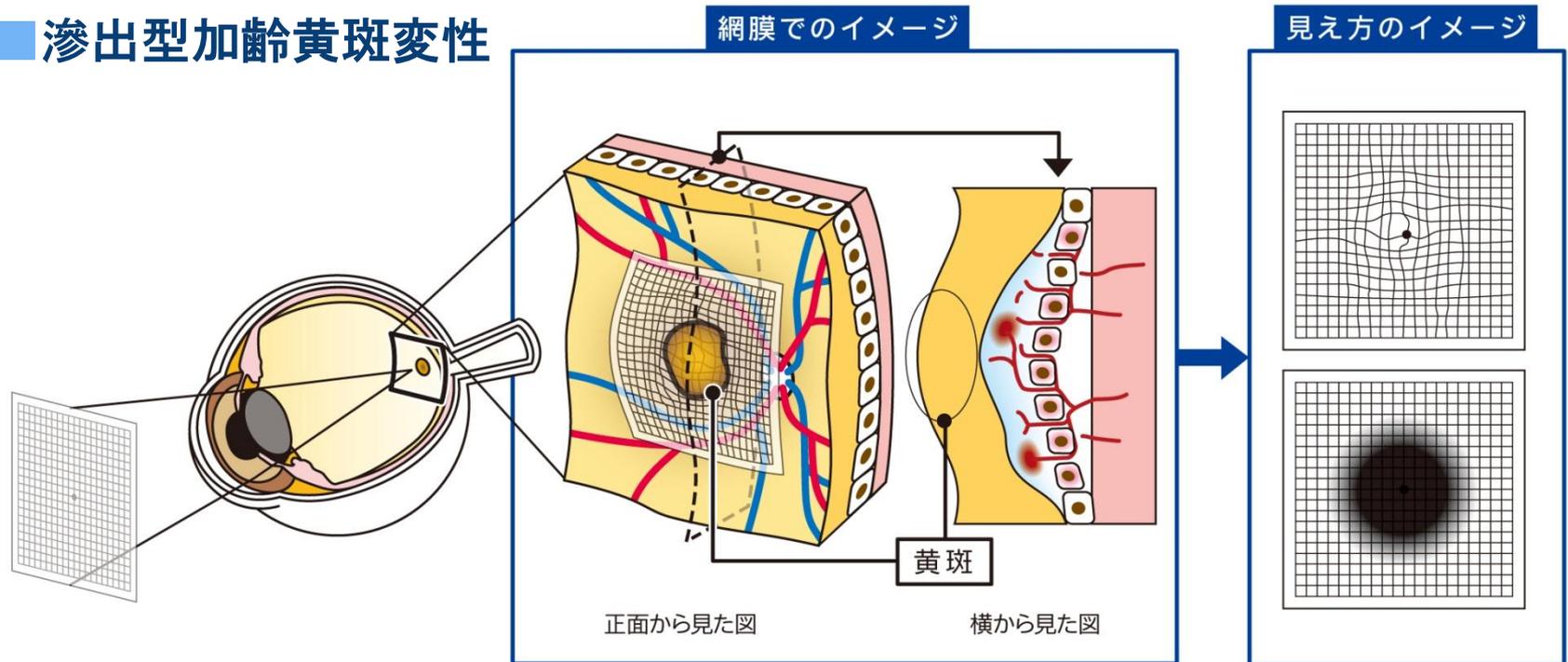
-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサル
- ・抗リウマチ剤: リマチル、アザルフィジン、メトレート

加齢黄斑変性

- ・新生血管が発生・発育して、血液や滲出液がもれだす原因物質としてVEGFが見つっています。
- ・VEGFは正常な血管を形成し、維持するために不可欠な物質ですが、加齢黄斑変性では本来は必要のない血管を発生させるなど、悪いはたらきをします。
- ・黄斑部の網膜が傷害されるため、中心部に見えないところやゆがみが生じます。

■ 滲出型加齢黄斑変性



*これらのイラストはイメージ図です。

参天製薬株式会社
2012年度 決算説明会
新製品開発の現状

取締役 専務執行役員
研究開発本部長
西畑 利明

主要臨床プロジェクト状況一覧①【領域別】

(赤字下線: 12FY3Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
緑内障	DE-117 EP2受容体作動薬			中国	DE-085 タフルプロスト 日本・アジア 欧州・ラテンアメリカ オーストラリア・米国
		DE-090 ロメリジン塩酸塩	欧州	DE-111 タフルプロスト/チモロール 日本	DE-118 タフルプロスト
角結膜疾患		DE-101 リボグリタゾン		中国	DE-089 ジクアホソルナトリウム 韓国 日本
	米国	DE-105 ペプチド組合せ剤 日本			
		米国	Cyclokat シクロスポリン 欧州		
網膜 ぶどう膜 疾患			DE-109 シロリムス		
			DE-102 ベタメタゾン		
その他 感染症・アレルギー・RA		DE-098 抗APO-1抗体		DE-114 エピナスチン塩酸塩	
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクト状況一覧②【地域別】

(赤字下線: 12FY3Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

実施地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認・発売
日本			DE-102 ベタメタゾン		DE-085 タフルプロスト
		DE-090 ロメリジン塩酸塩		DE-111 タフルプロスト/チモロール	DE-089 ジクアホソルナトリウム
		DE-105 ペプチド組合せ剤		DE-114 エピナスチン塩酸塩	DE-118 タフルプロスト
		DE-098 抗APO-1抗体	DE-109 シロリムス		
北米 (ラテンアメリカ含む)	DE-117 EP2受容体作動薬		DE-109 シロリムス		DE-085 タフルプロスト
	DE-105 ペプチド組合せ剤	DE-101 リボグリタゾン			
		Cyclokot シクロスポリン			
アジア (オセアニア含む)				中国 DE-085 タフルプロスト 韓国、オーストラリア	
				中国 DE-089 ジクアホソルナトリウム 韓国	
欧州			DE-111 タフルプロスト/チモロール		DE-085 タフルプロスト
			DE-109 シロリムス		
			Cyclokot シクロスポリン		
			Vekacia シクロスポリン		

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	承認申請中	承認申請中	一般名： タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩(配合剤)
欧州	P3	P3	

■DE-117

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
米国	P1/2a	P1/2a	EP2受容体作動薬 (プロスタグランジン系)

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症、角結膜疾患 —

■DE-118 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	承認取得	承認取得	一般名：タフルプロスト (防腐剤無添加・1回使い切りタイプ)

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	発売	発売	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国：承認申請中 韓国：承認取得	中国：承認申請中 韓国：承認取得	

主要臨床プロジェクトの現状 —角結膜疾患—

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
米国	P2	P2	一般名:リボグリタゾン

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P2	P2	ペプチド組み合わせ剤
米国	P2準備中	P2準備中	

主要臨床プロジェクトの現状 －網膜/ぶどう膜疾患－

■DE-102 糖尿病および網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P2/3	P2/3	一般名:ベタメタゾン

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
米国	P3	P3	一般名:シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	P3	P3	

主要臨床プロジェクトの現状 —感染症・アレルギー・リウマチ—

■DE-114 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	承認申請中	承認申請中	一般名： エピナスチン塩酸塩

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
日本	P2終了	P2終了	抗APO-1抗体

主要臨床プロジェクトの現状 —サンテン・エス・エー・エス(旧ノバガリ)

■Cyclokat(シクロカット) 重症ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia(ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/5発表時)	
欧州	P3	P3	一般名:シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名: ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名:デキサメタゾン パルミチン酸エステル

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。